

製鉄室蘭病院の村岡さん

# 認定訪問療法士に



製鉄記念室蘭病院（松木高雪病院長）訪問リハビリテーションセンター管理者（理学療法士、介護支援専門員）の村岡洋平さん(35)が、日本訪問リハビリテーション協会の「認定訪問療法士」に認定された。西胆振では唯一。「訪問リハビリの存在を多くの人に知ってもらい、今後の地域医療や介護の改善に役立ちたい」と話す。  
（松岡秀宜）

## 「地域医療に役立ちたい」

同協会では本年度、訪や室蘭・登別訪問リハビリハビリのサービスマンやリハビリテーション連絡会の活動などを通じて、訪問リハビリの質の向上などに力を注いでいる。こうした取り組みが評価され、今年2月、全国で36人、全道でも5人しかいない「認定訪問療法士」に認定された。

訪問リハビリは、寝たきりなどで一人でトイレに行くなど、日常生活に必要な動作ができない人に対して、自立した生活を取り戻せるように、

西胆振では唯一の「認定訪問療法士」となるため、「自分が一生懸命活動を進めることで、西胆振地域に還元し、地域全体の訪問リハビリのレベルアップと、質の向上につなげたい」とも話している。

西胆振で唯一の「認定訪問療法士」に認定された、製鉄記念室蘭病院訪問リハビリテーションセンター管理者の村岡さん